



キャンパス  
ライフ



## CONTENTS

### 2023年度 聖句

「主を喜び祝うことこそ、  
あなたたちの力の源である」  
(ネヘミヤ記8章10節)



学校法人和泉短期大学 2024年度事業計画	2
専攻科 ヒューマンケア専攻 他	3
TOPICS (クリスマスイベント 他)	4
入学前教育/国際ソロプチミスト相模「クラブ賞」授与式 他	5

# 学校法人和泉短期大学 2024年度事業計画

理事長 須田 拓



保育志望者が激減し、保育者養成校は大変厳しい状況の中に置かれています。しかし、保育者・福祉従事者は社会において重要な役割を担っており、本学は、なお主なる神から大きな使命を与えられていると確信しています。学生募集に力を注ぎ、そして折角入学した学生が離学せずに目標を達成することができるようさらに支援を強化すると共に、これからの時代に必要とされる保育者像を探求し、常に時代に先駆けた取り組みを心がけて参りたく思います。そのために、2024年度は以下の6つの柱を掲げます。

## 1. 建学の精神の深化

和泉短期大学は、「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」を建学の精神として掲げ、「愛と奉仕」をスクールモットーとしています。本学の歩みは、その創設以来、常にキリスト教信仰から生み出されて参りました。そして、子ども一人一人を神から愛されている一人一人として受け取ることなしに、本当の保育は成り立ちません。本学のこれからの方向性を打ち出さなければならぬ大切な時期であるからこそ、その原点に立ち返り、そこにしっかりと立脚することが必要です。これまで本学は、日頃からチャペルアワーを大切にし、聖書の御言葉に聴くこと

を大切にして参りました。教職員も、チャペルアワーに学生と共に出席すると同時に、毎年の歩みを、全教職員が参加する新年礼拝をもって、主なる神を仰ぐことから始めて参りましたが、この意識をさらに深く共有するよう、本年度は、本学がキリスト教学校であるとはどういうことか、またキリスト教信仰とは何か、教職員全体で確認する研修の時を持ちたいと願っています。

## 2. 将来構想の策定と実行

2022年度より、年3回将来構想会議を全学的に開催し、理事会とも連携して、和泉短期大学のこれからのあるべき姿を模索しています。その会議で出された意見を基に、さらに質の高い保育者を養成するため、これからの新しい保育者のあり方を示す「こども支援ソーシャルワーカー」及び「ヒューマンソーシャルワーカー」の和泉独自の資格を2023年度より創設いたしました。また、専攻科介護福祉専攻を、2024年度よりヒューマンケア専攻としてリニューアルし、高齢者介護の従事者だけでなく、例えば障がいについて深く理解する質の高い保育者の育成や、子どもから高齢者まで人間をトータルに理解する児童福祉従事者の育成をも目指すことになりました。これらの新しい取り組みを軌道に乗せつつ、さらにこれからの時代に必要な保育者・福祉従事者像を示して行きたく願っています。

他方、保育志望者が激減している中で、本学の使命を果たし、より良い社会を実現させて行くためにも、保育の魅力を発信し、

保育志望者を生み出し掘り起こすことにも力を注がなければなりません。高校生への働きかけと共に、小学生・中学生にも保育の魅力を伝えるための施策を進めて行きたいと思ひますし、地域や行政との連携を図りつつ、さらに幅広い年齢層にもアプローチしたいと願っています。また、本学の教育がさらにどのような可能性を持っているのか、特に、多様な方々が本学で子どもについて深く学ぶことにより、子どもの成長を支援する社会の実現に寄与できないかなどを検討し、学生募集にも生かして行きたく思ひます。

## 3. 地域連携・リカレント教育の推進

地域密着型の保育者養成校として、「はっぴい」や「すまいるい」を通じた地域の方々の子育て支援の充実を図り、ますます地域との連携を深めて行きたいと思ひます。保育者は、常に新しい状況への対応を求められます。本学は、卒業後も、生涯にわたって良き保育者として歩み続けることができるよう、その支援をしたく願っています。また、その教育を地域に開放することで、地域の保育・福祉の向上にも寄与したく願っています。2023年度は、喀痰吸引等研修を実施して6名が受講され、また8月にリカレント講座(現任研修・公開講座)を実施し多くの参加者を得ました。本年度もリカレント講座を実施すると共に、さらに、卒業後の段階に応じた、必要な知識やスキルを身に付けるためのプログラムを策定して行きたく思ひます。これらの講座を本学卒業生だけでなく、地域の保育者

に開くことで、地域の保育の質向上にも貢献できたいと思ひます。

## 4. 新中期計画の策定

2024年度は、第二次中期計画(2020年度〜2024年度)の最終年にあたります。中期計画の達成状況を振り返ると共に、将来構想を踏まえ、これからの本学の方向性を明らかにする第三次中期計画を本年度の早い時期に策定いたしたく思ひます。

## 5. 私立学校法改正への対応、コンプライアンスの強化

2025年度より新私立学校法が施行されるなど、学校法人のあり方の改革が求められています。本学としても、新私立学校法に対応するために必要な寄附行為等の改正を行うと共に、ガバナンスをさらに強化し、ますます社会から信頼される学校であることができるよう、努めて参りたく思ひます。

## 6. ICT環境の充実と施設整備

本学1号館は築47年を経過しました。必要な補修をしつつ、時代に合わせた今後の改修や設備の充実の計画を立てて行きたく思ひます。特に2024年度は、バリアフリーの観点から、エレベーターの設置を考えたく願っています。

また、ICT環境についても、ハード・ソフトの両面から、教育においても、事務においても、十分に情報を生かすことのできる環境を整えて参ります。

# 専攻科 ヒューマンケア専攻



専攻科介護福祉専攻 主任 佐藤 美紀

介護福祉専攻は2019年、和泉福祉専門学校から和泉短期大学に改組し、単科の専攻科としてはじまりました。当初は、

これまで介護養成に2年を要していた学習内容を1年間で養成することができたのか。教員ですら、未知の領域でした。しかし14年を振り返ってみますと、そのような心配には一切至りませんでした。むしろ、児童福祉学科での2年の知識、実習経験が専攻科1年間に活かされていることを痛感させられます。また、この1年間に人としての成長が学生たちに見られることが嬉しい限りでした。専攻科では介護の手法のみを勉強するものではありません。高齢者介護の視点と実習での体験自体が学生を成長させているのだと実感しています。

14年間で251名の修了生を送り出してきました。卒業生の就職先は、高齢者関連に留まらず、保育園、幼稚園、最近では障がい者関連へと就職の幅を広げています。それは、専攻科での授業が障がい児支援や保育の学びにプラスの影響を及ぼしているからです。例えば、通年で行うコミュニケーションの授業では、高齢者のみに対象を絞らず、対人としてのコミュニケーションの技法や障がいに応じたコミュニケーションの技法を学びま

す。そのことは、障がいのある方への対応を円滑にすることだけでなく、保育園や幼稚園の保護者への対応にも活用できていることが分かってきました。また、認知症の勉強では、認知症の人を「できない存在」と捉えるのではなく、「その方の可能性を引き出す」視点にケアの着目を置きます。このような考え方は、その子のできることに着目できる保育者の育成に関与していると考えています。介護過程も学生の思考を育む授業です。この授業は介護者の経験則や先入観にとらわれず対象者を分析していく学問です。多くの観察、情報収集から行動の背景を分析して、その方の望む支援を立案していきます。本人のこれまでの生活歴や病気を、思いを包含して支援の方法を導き出していくのです。この、根拠に基づいた思考の展開が保育、幼稚園でも役立つと思います。「なぜこの子は泣いているのか」、先入観や経験則にとらわれることなく、あらゆる角度から分析することで、その子に寄り添う対応ができるのだと考えています。

このように、介護の視点を学ぶことが、保育、教育の視点から福祉、高齢者介護の視点を学ぶことは、学生が将来、保育者、支援者、介護者として働く際に役立つことが分かってきました。そこで、2024年度からこれまでの専攻科のカリキュラムに新たに障がいのある方への支援内容を充実させた形で、ヒューマンケア専攻をスタートさせることが

決定しました。これまで取得できた、介護福祉士国家試験受験資格に加え、知的障害者ガイドヘルパー資格とヒューマンソーシャルワーカー資格(認定資格)を取得できるようにカリキュラムを構成しております。1年で3つの資格取得が可能になります。これらの資格採用の理由には、子どもから障がい・高齢者までの学びの充実にあります。知的障害者ガイドヘルパーの資格取得のための講座には、障がいのある者(子ども)の心理や知的障害者の障害・疾病の講座が設定されています。1日実習では知的に障がいのある方と実際に外出支援を行います。知識に加え、対応を肌で体験することは、大きな学びになると考えました。ヒューマンソーシャルワーカー資格は和泉独自の認定資格です。児童福祉学科で2023年度から導入された子どもソーシャルワーカー資格の流れを汲み、3年目の学びの集大成として、子どもや家庭支援、地域資源の活用、障がいのある当事者との支援の方法を多角的に学びます。この学びでは、学生には机上の知識だけにとらわれず、地域に赴き、実際の地域資源や当事者の生の声から支援者に必要な支援を学び取ってもらいたいと考えています。

新しい学びをスタートさせるヒューマンケア専攻で、学生がどのような成長を見せられるか専任教員は楽しみにしています。彼らの学びが将来の光となることを信じて、学生と共に歩んでいきたいと考えています。

## 専攻科介護福祉専攻 介護福祉士国家試験壮行会・事例発表会



第36回介護福祉士国家試験当日に向け、1月26日(金)壮行会が行われました。例年、佐藤守男学長、平塚豊事務局長をはじめ、多くの職員によってこれまでの努力にエールを送る会となっています。専攻科生は多くの人に見守られていることを感じてくれることでしょう。また、国家試験では、1年間の学びの成果を全力で出し切ってくれたと思います。

1月31日(水)に行われた事例発表会は、実習で行った支援内容を発表する場です。今年度は2クラスに分かれて発表を行いました。実習では一人の対象者のあらゆる情報から、その人らしい支援を立案します。昔、編み物が得意だった認知症の方と編み物を行ったり、一緒にピアノを弾いたり、花札を楽しんだり。学生が目の前対象者に真剣に向き合った事例発表はどれも興味深いものとなりました。発表会に出席してくださった教職員の皆様へ感謝申し上げます。3年目の学びの成果を感じていただければ幸いです。

## TOPICS

## 児童福祉研究「いっしょに子育て」第6号刊行

本学の「児童福祉研究室」は、地元住民の皆様と子育ての悩みを共有し、支援していくことを目的に、年1回「いっしょに子育て」を発行しています。

2023年度の児童福祉研究「いっしょに子育て」第6号(本文44p)を刊行いたしました。創刊号から第6号まで、本学Webページ「地域・一般の方へ」の中にある「児童福祉研究室」のページからご覧になれます。

児童福祉研究室では、今後も地域の保育・福祉に貢献する情報を発信してまいります。



## 市民大学 2023年度後期講座開催

2023年11月10日(金)と17日(金)の2日間、市民大学を開講しました。

講師は専攻科介護福祉専攻の中野志津江特任助教が務め「こころとからだのしくみを知り、「生活の質」を高める」と題した講座です。

第1回は日ごろの生活での安全・安楽な知識と技術を学び、第2回は日ごろの生活環境や動作が体に及ぼす影響と対応を学び、講義の終わりの質疑応答では受講生からは活発な質問が上がっていました。

受講生には相模原市内で暮らす高齢者の方も多く、今後も健康的な生活を過ごすための参考になる内容だった等の嬉しい声をいただきました。



## クリスマスイベント

## ●2023年度アドベント礼拝

クリスマスを待ち望む期間を「アドベント」と言います。学生の手作りのオーナメントで彩られたクリスマスツリーが飾られるなか、2023年12月4日(月)にアドベント礼拝をおさげしました。

聖歌隊により、イエス・キリストの母マリアの信仰を歌った賛美歌がささげられました。和寺悠佳チャプレンにより「もういくつ寝ると」と題して説教がなされ、神様の御子であられるイエス・キリストがこの世界にもたらしてくださる平和が語られました。

クリスマスを前にしたひととき、神様がもたらしてくださる平和に思いを向ける礼拝となりました。



## ●2023年度クリスマス礼拝

イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス礼拝を、2023年12月11日(月)におさげしました。東洋英和女学院中学部・高等部 上野峻一牧師により「クリスマス・プレゼント」と題して説教がなされました。神様が私たちの罪を赦すためにイエス・キリストをお送りくださいました。このプレゼント、神様の愛を受け取った人たちによって、この世界に真の愛が広められていきました。和泉短期大学の学生にもその愛を受け継ぐ者になってほしいと語りかけられました。

また、礼拝では、ハンドベルクワイアと学生聖歌隊による賛美奉獻がなされ、クリスマスにお生まれになった御子イエス・キリストへの賛美に出席者全員が心を合わせました。



## ●2023年度学校法人和泉短期大学「クリスマスフェア」を開催

2023年12月7日(木)「2023年度第4回クリスマスフェア」(通算35回目)を開催しました。

## イベント内容

- ・100円ランチメニュー…「ホワイトシチューライス」、「和泉特製タコライス」
- ・キャンパスコンビニ 全商品20% OFF
- ・景品プレゼント(くじ引き)

「ランチメニュー」は、人気のため完売しました。キャンパスコンビニには、シュークリーム等、普段より多くのラインナップが揃い、盛況でした。今後も学生向けイベントを定期的で開催して参ります。



## ●はっぴいクリスマスコンサート

2023年12月9日(土)和泉短期大学クラークホールにて、子育てひろば「はっぴい」と大学宗教部共催の「はっぴいクリスマスコンサート」が開催されました。

当日は、地域の方々、親子、学生、高校生、教職員と総勢217名が共に一足早いクリスマスを楽しむことができました。本学オルガニスト石井三枝子先生によるパイプオルガン演奏、学生聖歌隊によるクリスマスソング、はっぴいボランティア学生による絵本の朗読など盛りだくさんのプログラムでした。

参加したお子さんたちは学生と一緒に歌ったり遊戯に参加したり、クリスマスツリーを自分で用意したオーナメントで飾り付けたりと大いに楽しんでいました。コンサートの終盤にはサンタクロースとトナカイがやってきて、お子さん一人一人にプレゼントを手渡しました。コンサート後、子どもたちは思い思いにサンタクロースと握手や写真撮影をして心温まるひと時となりました。



## 2024年 教職員 新年礼拝

2024年1月9日(火)和泉クラーク・ホールにおいて、教職員、協力会社の方たちが一堂に会して「教職員 新年礼拝」をおさげしました。

須田理事長より「神を仰ぐー私たちの立ち返るべきところー」と題して説教があり、本学のスクールモットーである「愛と奉仕」は、我々一人ひとりが神様を仰ぐことから始まると告げられました。



## 2024年 学校法人和泉短期大学新年の集い

2024年1月9日(火)新年礼拝後、「教職員 新年の集い」がクラーク・ホール1階食堂で行われました。

本学教職員、協力会社(シダックスコントロールフードサービス株式会社、株式会社東海ビルメンテナンス)の方々にご参加いただき、コロナ禍を経て4年ぶりに集いの時を持つことができました。



## 2024年度入学生 入学前教育

検見崎 未来さん (湘南工科大学附属高等学校)



入学前に、同じ志を持つ仲間と活動を通して関わりを持つことができ、これからの学校生活がより一層楽しみになりました。また、校内ですれ違う方たちが優しく声をかけてくださったり、挨拶をしてくださったことが印象的で、このあたやかな雰囲気

が和泉の魅力であるということを感じました。車椅子と白杖の体験授業では、使用している方々の怖さや不安な気持ちに気づくことができました。実際に自分自身が体験して気づいたことは保育や福祉の現場で大切になると思えます。様々な場面でのような声掛けやサポートをするべきなのか入学後、先生方、先輩方から吸収して学んでいきたいです。

橋本 侑奈さん (神奈川県立麻溝台高等学校)



入学前教育を受講して、和泉短期大学の学生として保育士を目指す一歩を踏み出したように感じました。交流を目的とするゲームを通して同級生の明るくて優しい人柄に触れ、新たな仲間との学生生活に対する不安が解消されました。また、保育においてコミュニケーション能力は大切であると改めて感じました。そのため、自ら積極的に声を掛けるなど、自主性を伸ばしていきたいです。

入学後は勉強や課題、実習などで忙しい二年間を過ごすことになると思います。しかし、小学生からの夢であった保育士という職業に直接関係のある内容を学べることに、不安よりも遥かに楽しみな気持ちでいっぱいです。同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら充実した日々を過ごしたいと思います。

## 国際ソロプチミスト相模「クラブ賞」の授与式が行われました

2023年12月21日(木)、相模原市民会館(2階中会議室)において、児童福祉学科1年千葉春奈さんが、国際ソロプチミスト相模「クラブ賞」を授与されました。

国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン「夢を生きる～女性のための教育・訓練賞～」は、1972年以来、今以上の教育や技能訓練を得ることによって、より良い生き方を目指している女性を応援し、賞金を提供するものであり、国際ソロプチミストアメリカの主要なプログラムです。

## 国際ソロプチミスト奨学金を受けて

1年生 千葉 春奈

世の中の夢を応援してくださる方々の存在を知り、人の温かさを感じ心を動かされました。私自身も今後、人の夢や希望を応援し、たくさんの学びを世の中に還元していけるよう進んで参ります。

学修奨励奨学金、保育士修学資金、  
介護福祉士修学資金

## 2023年度前期 学修奨励奨学金受給学生

米山 璃華 / 小川璃玖也 / 安齊 美羽  
前澤 星那 / 千葉 春奈 / 武田 渚沙

## 2023年度 保育士修学資金

神奈川県  
山本ひかり / 安藤 咲恵

## 横浜市

釜范 淳美 / 萩野谷乃愛 / 清原 万鈴  
東京都  
松崎 朱海 / 小竹奏乃葉 / 千葉 春奈  
本間なちゅれ / 小林 実珠 / 鈴木 萌花

## 東京都

島 清可 / 岡村 優麻

## 2023年度 介護福祉士修学資金

## 神奈川県

塚本 彩華 / 渋谷 莉彩

## 東京都

岡本 優里 / 小澤 里奈 / 河原ゆりの  
西田 亜美

## ■ 訃報

## 故 田中 金子 氏

田中 孝一 学生支援ユニットリーダー 御母堂  
(2023年12月10日)

## 故 杉森 喜代 氏

武石 宣子 特任教授 御母堂  
(2024年1月3日)

主による平安をお祈りいたします。



## 2023年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります。本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額 3,000,000円  
募金募集期間 2023年6月～2024年3月(第6期)  
募金金額 1 □5,000円  
払込方法 郵便振替口座

口座番号 00280-6-105705  
口座名 学校法人 和泉短期大学  
愛のいずみ基金奨学金

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人  
**和泉短期大学** 庶務ユニット(法人担当)  
042-754-1133

寄付者一覧(敬称略) <2023年11月21日～2024年2月20日>

和泉短期大学後援会/大谷 孝次/金成 泰宏/小池 教興/同窓会いずみ/土橋 正文/匿名希望(1件) 以上7件 215,000円

## 2023年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保母専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2023年5月に学校法人和泉短期大学は創立67年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は20,036名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げます。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2023年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

皆様には出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業 1. 1号館 教室プロジェクター交換工事  
2. ICT環境の整備  
3. 1号館 大教室 ウイルス除去装置設置

募金目標金額 10,000,000円  
募金募集期間 2023年6月1日～2024年3月31日(第12期)  
募金金額 1 個人 1 □ 5,000円  
2 法人 1 □ 10,000円

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人  
**和泉短期大学** 庶務ユニット(法人担当)  
042-754-1133

寄付者一覧(敬称略) <2023年11月21日～2024年2月20日>

遠藤 陽子/大谷 孝次/金成 泰宏/小池 教興/嶋田 順好/深町 和哉 以上6件 75,000円

## こども支援ソーシャルワーカー資格

こんにち、子どもへの虐待や不適切な養育が深刻な社会問題です。一人ひとりの子どもの命と人生にかかわることですから、その予防と、早期の段階での発見と、その後の適切な対応は極めて重要です。また、核家族家庭が多数を占め、地域でのつながりの低下や人間関係の希薄化などにより、親が子育ての悩みを誰かに打ち明けたり相談したりできず、孤立しがちだという問題が指摘されて久しいです。

そうした状況に鑑み、国は児童福祉法改正により、新たな認定資格として「こども家庭ソーシャルワーカー」を創設することを決め、2024年度から運用が始まります。ソーシャルワークとは相談援助のことです。子どもや親に対しての専門的な相談援助は、子どもの権利を護るための重要な営みです。

ソーシャルワーク機能は、児童相談所や市区町村の子育て支援部署の担当者だけが有するわけではありません。日々子どもと密接にかかわる保育者にも深く求められているのです。乳児院や児童養護施設などで勤める保育者・支援者も同様です。しかしこの資格を取得するためには、実務経験+研修の修了+試験の合格が必要で、最低でも4年間かかる見込みです。

そこで、本学は一足先に2023年度に動き始めました。それが本学独自の「こども支援ソーシャルワーカー資格」の設置です。資格取得のために、児童福祉学科での課程に次の二つを加えました。一つ目が「こども支援ソーシャルワーク(集中講座)」で、ソーシャルワークを多角的に修得します。二つ目が「福祉現場体験」で、施設実習先とは別の福祉現場体験により福祉の幅広さと奥深さを学びます。開始初年度は1年生の約80%がこの資格取得を目指しています。本学で「こども支援ソーシャルワーカー資格」を取得した人は、それを堂々と履歴書に書けます。それは、相談援助に関する専門の学びを修得したという証明であり、保育や社会的養護現場での実践で強みになります。

本学は創立以来、児童福祉を教育の柱に据え、子どもの幸せのために尽力する人材を養成し社会に送り続けてきました。時代は変遷しますが、ニーズに即した人材養成に取り組むのが和泉短期大学の使命です。「和泉なら、2年間で『こども支援ソーシャルワーカー資格』も取れる」。「和泉の卒業生はソーシャルワークを学んできている」という声につなげ、本学の特色の一つにしていきたいです。

(学生部長 横川剛毅)